

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

全社一体となって、科学的合理主義と人道主義に基づく創造的な進歩と発展を図り、事業の発展を通じて社会に貢献する

親会社株主に帰属する  
1,300億円

ROE  
10%以上

総合職女性採用比率  
30%以上

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 国内建設事業を深める

提案力・設計・エンジニアリング力を結集。生産施設や再開発事業の重点分野で大型工事を受注。新工法・自動化施工技術開発で施工力強化。デジタル化で業務効率と技術水準向上

## 3. 技術立社として新たな価値を創る

政府機関・大学・スタートアップと協働。社会要請に応える実践的研究。技術マーケティングで新収益源開拓。CO2-SUICOM、森林管理サービスなど新技術展開

## 2. 成長領域を伸ばす

建設技術・ノウハウを活かした不動産開発事業を国内・海外で展開。海外で投資・売却サイクル確立。米国医療・教育分野の建設会社買収など、M&Aでバリューチェーン拡充

## 4. サステナビリティ推進

鹿島環境ビジョン2050plusに基づき脱炭素・資源循環・自然再興。建設業時間外労働上限規制への対応。DE&I目標設定。サプライチェーン全体でコンプライアンス・人権尊重

## ③ 対処すべき課題

## ① 建設コストと施工体制

- ・資機材価格・労務費が高い水準。コスト管理の徹底が課題
- ・旺盛な需要に応える施工体制整備が大きな課題
- ・処遇改善や生産性向上によるサプライチェーン施工力強化

## ② 成長戦略の実現

- ・3年間投資総額1兆2,700億円でDX推進。AI適用範囲拡大
- ・国内・海外開発事業ネット投資額200億円増。売却回収400億円増
- ・デジタル人材育成加速が必要

## ③ 人材確保と多様性

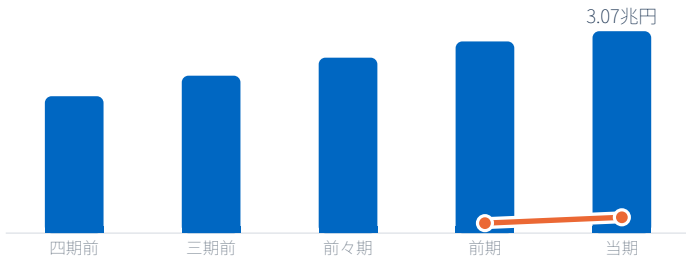
- ・成長・変革を担う人材確保・育成が課題
- ・総合職女性採用比率30%以上の新目標設定
- ・多様な働き方で活躍できる現場づくり推進

## 面接で使えるポイント

- ・生産施設分野で3,000億円以上の工事受注。Rapidus先端半導体工場施工で2026年3月竣工へ進捗中
- ・CO2を吸収するコンクリートCO2-SUICOM開発。2025年大阪・関西万博舗装で約9.7トンCO2固定
- ・シンガポール研究開発拠点『The GEAR』設立。政府機関・大学・スタートアップと協働して実践的研究推進

証券コード 1812

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
3.07兆円営業利益率  
7.8%財務健康度  
36点 / 100点

要するに

1930年設立の建設業大手企業であり、プライム市場に上場している

主力事業・セグメント

- ・建設 38.5%
- ・海外AssociateCompa 35.6%
- ・エンジニアリング 14.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3.07兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
1,245万円

建設業内 2位/140社

平均年齢  
41.2歳

建設業内 110位/140社

平均勤続  
15.7年

建設業内 72位/140社

女性管理職  
3.5%

建設業内 53位/112社

男性育休  
94.3%

建設業内 31位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: コスモス商事が鹿島建設と洋上風力発電所の基礎工事用機器類の販

